

太田記念美術館

葛屋重三郎と版元列伝

前期 8月30日(土)～9月28日(日)
後期 10月3日(金)～11月3日(月・祝)



東洲斎写楽
市川鯉藏の竹村定之進
寛政6年(1794) (部分)

喜多川歌麿
「婦女人相十品」文読む女
寛政4～5年(1792～93)頃(部分)

大東急記念文庫

五島美術館展示室2

特集展示

葛屋重三郎

江戸には江戸の
風が吹く

9月2日(火)～10月19日(日)



山東京伝
「傾城買四十八手」
寛政2年(1790)刊(部分)

喜多川歌麿画
「青楼夜のにしき」
天明3年(1783)刊(部分)

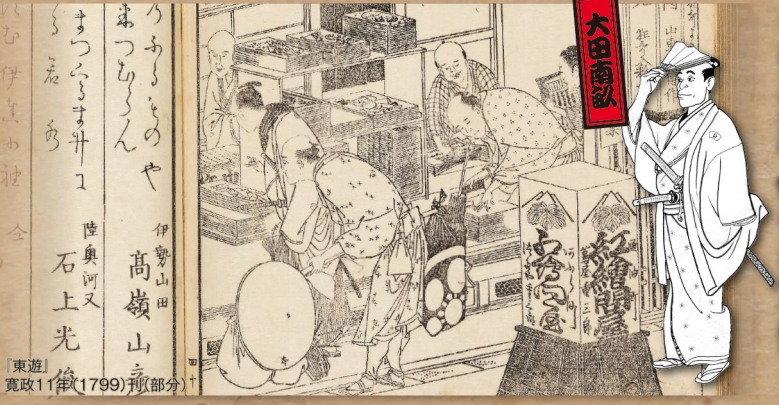
印刷博物館

ミニ展示

あれもこれも葛重!

お江戸の名プロデューサー
葛屋重三郎

9月2日(火)～11月3日(月・祝)



「東遊」
寛政11年(1799)刊(部分)

イラスト(ノ)関主

たばこと塩の博物館

3階コレクションギャラリーミニ企画
18世紀のおもちや絵と
葛屋重三郎版の
おもちや絵(仮)

10月初旬～11月初旬



勝川春泉画
「新板春泉画」
寛政3年(1791)頃刊(部分)

国文学研究資料館

展示室特設コーナー

葛重、圧巻。大・中・小

10月初旬～11月下旬



五館連携
葛屋重三郎引草

都内五館で巡る、江戸の名版元「葛屋重三郎」の世界



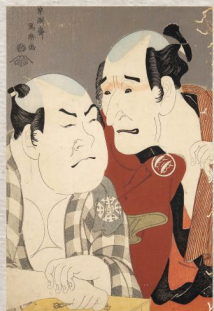
喜多川歌麿画
「画本虫撰」天明8年(1788)刊(部分)

葛屋重三郎と版元列伝

前期 8月30日(土)~9月28日(日)

後期 10月3日(金)~11月3日(月・祝)

浮世絵版画を制作するにあたり、絵師・彫師・摺師といった職人達を統括し、制作や販売の指揮を行なう「版元」の存在を欠かすことはできません。本展覧会では、喜多川歌麿や東洲斎写楽をプロデュースした葛屋重三郎を中心に、浮世絵師たちとタッグを組んで名品を生み出したさまざまな版元たちの業績を紹介します。



東洲斎写楽
「中島和右衛門のぼうだら長左衛門と中村此蔵の船荷かな」(川)の権
寛政6年(1794)

【開館時間】10:30~17:30(入館は17:00まで)
【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、
展示替え期間(9月29日(月)~10月2日(木))
【入館料】一般1,200円/高生800円/中学生(15歳)以下無料
【住所・アクセス】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10
Tel.050-5541-8600(ハローダイヤル)
・JR山手線「原宿駅」表参道口より徒歩5分
・東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前駅」5番出口より徒歩3分

喜多川歌麿
「舞女八相十品」文芸むす
寛政4~5年(1792~93)頃

【ホームページ】



印刷博物館 PRINTING MUSEUM, TOKYO

ミニ展示

あれもこれも葛重!

お江戸の名プロデューサー葛屋重三郎

9月2日(火)~11月3日(月・祝)

江戸で花開いた印刷・出版というコミュニケーションメディアをたくみに使いこなした、葛屋重三郎。時代の雰囲気や敏感により、流行をうみだす名プロデューサーとしていられています。華々しさがある一方、兼ね備えたビジネスセンスでたたかき手堅い分野の書物も手掛け、安定的な経営をおこなっていました。重三郎がもつ多面性や当時の印刷文化のあゆみとのかかわりを常設展示エリアとからめてご紹介いたします。

【開館時間】10:00~18:00(入場は17:30まで)
【休館日】毎週月曜日(ただし祝日・振替休日の場合は翌日)
【入館料】一般500円/学生200円/高校生100円/中学生以下・70歳以上の方無料
【住所・アクセス】〒112-8531 東京都文京区水道1-3-3 TOPPAN小石川本社ビル
Tel.03-5840-2300(代)



・東京メトロ有楽町線「江戸川橋駅」4番出口より徒歩8分
・JR総武線「飯田橋駅」東口、東京メトロ有楽町線、東西線、南北線、都営大江戸線「飯田橋駅」B1出口より徒歩13分
・都営バス 飯64・上69「大曲」東五軒町下車徒歩3分

【ホームページ】



「吉原細見」
寛政4年(1792)刊

3階コレクションギャラリー ミニ企画 18世紀のおもちゃ絵と葛屋重三郎版のおもちゃ絵(仮)

たばこと塩の博物館 TOBACCO & SALT MUSEUM

10月初旬~11月初旬

浮世絵のジャンルに、主に子どもを対象としたおもちゃ絵があります。十八世紀前半のものはなかなか残っていませんが、後半になると、勝川派が描いた役者尽くしが確認できるようになります。十八世紀末、葛屋重三郎も勝川派の絵師とつながりを持ち始め、そのおもちゃ絵も出版しています。本展示では、十八世紀のおもちゃ絵と葛屋重三郎版のおもちゃ絵を紹介します。



【開館時間】10:00~17:00(入館締切は16:30)
【休館日】毎週月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は開館、翌日が休館)
【入館料】一般・大学生300円(200円)/小・中・高校生、65歳以上の方100円(50円) * ()内は20名以上の団体料金
【住所・アクセス】〒130-0003 東京都墨田区横川1-16-3
Tel.03-3622-8801

・東京メトロ半蔵門線、東武線、京成線、都営浅草線「押上駅」より徒歩12分
・都営浅草線「本所吾妻橋駅」より徒歩10分
・東武スカイツリーライン「とうきょうスカイツリー駅」より徒歩10分

「折り変わり絵」
18世紀前半刊



「三芝居役者似顔忠臣蔵」
天明6年(1786)頃刊(部分)

【ホームページ】



五島美術館 展示室2 特集展示

大東急記念文庫

葛屋重三郎 一江戸には江戸の風が吹く

9月2日(火)~10月19日(日)

吉原で活動を開始した本屋、葛屋重三郎にとって吉原に関する書物は主要な商品の一つでした。本展示では、吉原細見および俄や玉菊燈籠といった吉原の行事に関する書物を展示します。同じく葛重版の江戸戯作からも、山東京伝の作品を中心に多色摺りの袋や原表紙の残った洒落本、恋川春町・朋誠堂喜三二ら葛重を支えた作者たちの絵題簽付きの黄表紙を展示します。

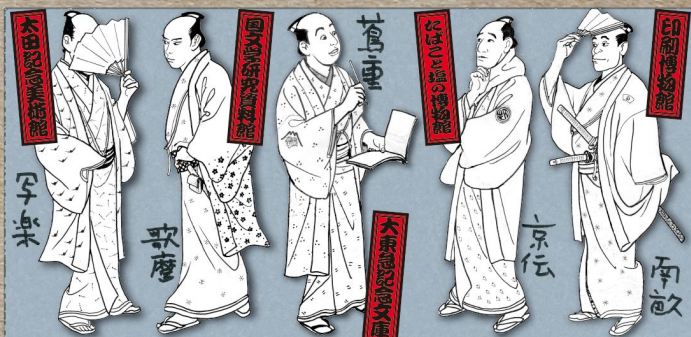
【開館時間】10:00~17:00(入館は16:30まで)
【休館日】毎週月曜日(9月15日、10月13日は開館)、9月16日、10月14日
【入館料】一般1,100円/高・大学生800円/中学生以下無料
【住所・アクセス】〒158-8510 東京都世田谷区上野毛3-9-25
Tel.050-5541-8600(ハローダイヤル)
・東急大井町線「上野毛」駅下車、徒歩5分



唐来三和「和唐珍解」
天明5年(1785)刊

喜多川歌麿
「青樓夜のしき」
天明3年(1783)刊

【ホームページ】



「五館連携 葛重手引草」ご来場の方に漫画家・一ノ関圭描き下ろし特製カードをプレゼント。カードは「葛重、南畝、京伝、歌麿、写楽」の5種類。連携館によってお渡しする人物が異なります。5館を回って5種類集めてみてはいかがでしょうか? (数量限定。各2,000名・先着順)

連携期間カレンダー 2025年	8月	9月	10月	11月
・太田記念美術館 葛屋重三郎と版元列伝		前期 8/30土~9/28日	後期 10/3金~11/3月祝	
・大東急記念文庫 五島美術館 展示室2 特集展示 葛屋重三郎 一江戸には江戸の風が吹く			9/2火~10/19日	
・印刷博物館 ミニ展示 あれもこれも葛重! お江戸の名プロデューサー葛屋重三郎			9/2火~11/3月祝	
・たばこと塩の博物館 3階 コレクションギャラリー ミニ企画 18世紀のおもちゃ絵と葛屋重三郎版のおもちゃ絵(仮)				10月初旬~11月初旬
・国文学研究資料館 展示室特設コーナー 葛重、圧巻。大・中・小「総合書物学国文研ユニット」企画展示)				10月初旬~11月下旬

展示室特設コーナー

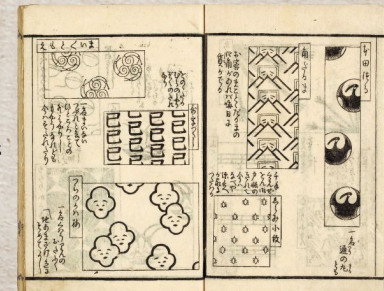
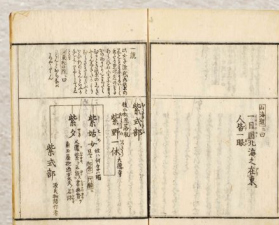
葛重、圧巻。大・中・小

(「総合書物学国文研ユニット」企画展示)

10月初旬~11月下旬

バラエティ豊かな葛重版の数々。大きさごとに大・中・小の3つのカテゴリーに分けてみると、それぞれのサイズごとに豊かな表情と個性が見えてきます。

【開催時間】10:00~16:30
【休館日】土日祝日・第4水曜日
【入館料】無料
【住所・アクセス】
〒190-0014 東京都立川市緑町10-3
Tel.050-5533-2900(代表)
・多摩モノレール高松駅下車、徒歩10分
・立川バスの場合「立川学術プラザ」バス停下車、徒歩1分



山東京伝
「小紋雅話」
寛政2年(1790)刊

山東京伝
「初衣抄」
天明7年(1787)刊

【ホームページ】



(国文学研究資料館所蔵典・国書データベース)